

# 科学館ボランティア大募集!

スペースパークボランティアの会では随時ボランティアを募集しています。  
科学館活動の最前線に立って、笑顔のために活躍してみませんか!?  
活動内容にご興味を持たれた方は、ぜひ科学館にお問い合わせ下さい

## ■活動時間

(午前の部) 9:30~13:00  
(午後の部) 12:30~16:00

※館外での出張活動・イベント開催時・天文ボランティアの活動については、この限りではありません。  
※毎月2回以上の活動を予定しています。

## ■応募条件

- ①科学館の活動に興味があり、ボランティア活動への熱意がある方
- ②15歳以上(中学生を除く)で健康な方  
※未成年者は保護者の承諾書が必要となります。
- ③無償で参加可能な方  
※昼食代、交通費等の支給はありません。

## ■応募方法

ふれあい科学館に電話でお問い合わせいただくか、22階インフォメーションカウンターへ直接お越しください。

## ■募集内容

- ①案内グループボランティア  
展望ロビーからの風景や歴史の案内、紙芝居の実演、「Nゲージ鉄道ジオラマ」の案内や説明、館外出張活動など
- ②科学グループボランティア  
展示ゾーン内のカウンターや出張活動での工作や実験など
- ③天文グループボランティア  
駅前や出張活動での天体観望会の案内や説明など

勉強会やツアーも実施しております

## S.P.V活動情報 ~8月

ほかに公民館など市内出張活動を予定

### 案内

#### “昔懐かし”紙芝居(約15分)

● 随時実演 ☆ 展望ロビー(北)

#### ジオラマショー案内(約20分)

● 11:00~、15:00~、17:00~  
☆ 展望ロビー(東)

### 科学

#### かんたん科学工作ほか

● 土日祝 10:00~15:30  
☆ 21階展示ゾーン入館者対象

### 天文

#### 駅前観望会

● 7/9(土) 19:30~20:30  
● 8/13(土) 19:00~20:00  
☆ 郡山駅西口駅前広場

※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第50号 9月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL.024(936)0201まで

## 編集あとがき 拡大版

### ☆科学グループ(山)

GW、短時間ながら郡山カルチャーパークへ遊びに行ってきました。どのアトラクションにも長蛇の列ができており、新緑が眩しい原っぱも家族連れで溢れていました。レジャーシートを広げ、のんびりおにぎりを食べる。原発事故から暫くの間叶わなかった、そんな何となく無事な幸せが、ようやく戻ってきた気がします。

### ☆天文グループ(鹿)

前号のS.P.VつうしんでX線観測衛星「ひとみ」の打ち上げ成功を伝えたのに運用前に使用できなくなっていました。宇宙開発の難しさを改めて痛感しました。この失敗を次の成功に結びつけて欲しいです。  
夏の星座の季節です。さそり座の近くには火星と土星がみえますよ。探してみましょう。

### ☆案内グループ(管)

行ってきました!福島県立美術館でのフェルメール展。普段は音声ガイド借りないのですが、今回は玉木宏のガイドということで音声ガイドを借りて鑑賞してみました。会場の照明と、音声ガイドから流れるBGMそして玉木宏の音がマッチして、うっとり……。何度も何度も聞きなおしていました。

### ☆案内グループ(古)

今年は北海道新幹線の開通や、京都鉄道博物館のオープンなどで盛り上がりがありますが、毎年磐越西線を走っていた485系特急型電車が6月を持って引退するという寂しいニュースも……。485系がなくなってしまうと会津へ行く観光客が減ってしまうので、JRの関係者の皆様、なんとか485系を残していただけないでしょうか?



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。

●スペースパークボランティアの会●

# S.P.V つうしん

第49号 2016/June

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL.024(936)0201

## ★天文グループ 活動報告

2016 5/5(祝) ミューカルがくと館

### 開成山こどもまつり

こどもの日に開成山で行われるこどもまつりに、今年もスペースパークボランティアの天文グループも参加させていただきました! 毎年人気の工作コーナーと太陽観察コーナーに分かれました。工作コーナーでは、高校生のボランティアさんにもお手伝いしていただき、風船ロケット作りと星座分光器作り。

ハサミやテープを使ったりなど細かい作業が多い中、小さいお子さんにも丁寧に説明をして、それでも少し難しいところはお父さんやお母さんと一緒に親子で工作を楽しんでいました。実際に作ったロケットをどうやったら遠くまで飛ばせるか、飛ばし方を変えたり、羽の方向を変えたり、工夫をして飛ばしていました。

分光器を覗いてみると、普通の電気からなぜ虹色の光が出るのか考えながらも、自分の手の中に虹がある嬉しさと不思議さを体



験することができました。

太陽観察コーナーでは、「直接肉眼では見てはいけない太陽。でもなんで見ることができるのか。」と言うみなさんの疑問に答えつつ観察し、あらためて太陽の大きさや明るさ、温かさを感じてもらいながら穏やかな表情の太陽を見ていただくことができました。

足を運んで下さったみなさま、朝から1日お手伝いしてくれた高校生のみなさん、今年も楽しいこどもまつりでした。ありがとうございました!

天文グループ 相田 青空海

## ★科学グループ 活動報告

2016 5/3(祝)~5(祝) 科学館 展示ゾーン

### サイエンスフェスティバル

連休に出逢えた笑顔と魅力

ゴールデンウィーク中、科学館ではサイエンスフェスティバルが開催されました。来場者にお祭りの屋台を渡り歩くように様々な実験や工作を楽しんで頂くイベントです。様々な団体が非常に魅力ある題材を用意し、終始行列の絶えないブースも見受けられる中で、私たち科学グループボランティアも今回は例年以上に気合を入れて出展しました。

今回用意した「イリュージョンカード」は高速で回すことにより表裏に描いた絵が残像で重なって見えるというもので、お子さん達から大人気の工作です。好みの柄を選んでもらい、色鉛筆やサインペンでじっくり自分だけのカードを作り上げていきます。向き合うのは自分の中のイメージ。幼少期から高学年のお子さんまで(ときに大人まで)、これほど幅広い年齢層で楽しめる工作というの



も珍しいかもしれません。筆が進むに連れ一枚のカードに作り手の個性がギュッと詰められていくようで、親御さん達もお子さんが作るカードの完成を楽しみに見守っていらっしゃいました。

こどもの日の5日には、「ビー玉ゴマ」工作が加わったり他ブースの応援に入ったりと、一段とアクティブな活動内容となりました。沢山の笑顔と出逢え、このボランティアの魅力を見つけたのが今年のゴールデンウィークです。ご来場の皆様、ありがとうございました!

科学グループ 山田 善貴

# ボランティアまつり開催!

活動報告

2016 3/20(祝)~21(振) 科学館 展望ロビー

## 科学グループ



ボランティア祭りは3月20日・21日に開かれましたが、お彼岸と重なったせいか、昨年よりお客様が少なかったように思いました。

科学ボランティアとして「イリュージョンカード」と龍夫妻の「折り紙」を出展しました。イリュージョンカードは新しく「桜」と「ブタさん」を用意しました。子供達に「好きなようにどうぞ…」と作らせたのですが、ブタがパンダになったり、桜の木に果物や鳥、周辺に太陽や星、人物等を描いたり、各々がアイデアを凝らして楽しんでいました。輪ゴムを付けてくるくと回すだけなのに、表裏が一枚の絵になって見える不思議に目を丸くし驚いている子供達でした。日常生活では得られない発見をし、キラキラした笑顔を見せる子供達から私は元気をもらいました。

私自身も、単純な一つの素材がアイデアや色付け等でどんどん広がりを持つ面白さを改めて感じました。

少々疲れましたが楽しい2日間でした。

科学グループ 佐久間 秀子

3月20・21日の2日間、ボランティア祭りが開催されました。案内グループは、例年通りけん玉・輪投げ・お手玉・あやとり・皿回し等で来館してくれた子供たちに楽しんでもらいました。

一番人気は、やはり皿回しでした。主役のお子さんよりお父さん・お母さんの方が夢中になって皿回しにチャレンジされる場面もありました。

毎回感じるのですが、お手玉・あやとりができるお母さんが少なくなっています。私もその一人です。昔は遊べたあやとりなのに、と思いつながら逆に子供たちから教わる場面もありました。

伝統的な昔遊び。いつまでも伝え続けていかなくてはいけないと思うボランティア祭りでした。

案内グループ 菅野 佳子

## 案内グループ



## 天文グループ

毎年恒例のボランティアまつり!今年天文グループでは似顔絵コーナー、写真撮影コーナー、星座早見盤作り、『本物の隕石に触ろう。』など、それぞれの特技や好きなものを天文と合わせてみなさんに楽しんでいただきました。

1番人気だった似顔絵コーナーでは、宇宙の背景に自分の姿を描いてもらい、そっくり!と、大人から子供まで喜んでいました。

星座早見盤作りでは、自分で星座早見盤を組み立てて実際にその日の夜に見える星座や、自分の誕生日に見ることができる星座を探してみました。星を探すことはあまり難しいことではないことを知ってもらい、「星座をたくさん覚えたい。」や、「早く本当の空で星を探してみたい。」など興味を持っていただくことができました。

隕石に触るコーナーでは隕石に磁石をくっつけてみたり、その重さに驚いている様子でした。

今年もたくさんの方にお越しいただき、いろいろなお話や体験を通して天文に少しでも興味を持っていただくことができました。

天文グループ 相田 青空海



## 新たな第9惑星は存在するか?

天文グループ 田中 鐵五郎

探査機ニューホライズンズが2015年7月、かつての第9惑星の冥王星に最接近し、撮影した冥王星やその衛星カロン鮮明な画像を目にしたのは、まだ記憶に新しいところです。

最近、カリフォルニア工科大学の二人の研究者が、冥王星よりもはるか遠方にある6コの天体を観測し、未知の惑星の存在を仮定すれば、それらの軌道配置をうまく説明できると発表し、未知の第9惑星が存在する可能性を示唆しました。今回仮定された未知の惑星は質量が地球の約10倍、海王星までの距離の約20倍遠方であり、約1~2万年かけて太陽の周りを公転していると予想されています。

歴史上、惑星軌道のわずかな変動の観測から、未知の惑星の発見につながった例としては、1846年の海王星の発見が有名です。また1800年代後半、水星軌道の内側に存在が仮定されたヴァルカンは、後にその存在が否定され幻の惑星となりました。今回仮定された未知の惑星ははるか遠方にあるため、世界最高の性能を誇る望遠鏡で観測しても、探索には数年かかるとのことでした。

今回の発表が、新惑星の発見(第9惑星)となるのか、それとも幻の惑星で終わるのか、探索の結果が楽しみです。

## 森林ウォーキングの効果

長い冬からつかの間の春を超え、一気にグリーンシーズンが到来です。

さて、森林ウォーキングは以前から健康づくりに良いと言われており、それはαピネンなどモノテルペン類という森林揮発物質(いわゆるフィトンチッド)が運動とともに作用しているからと言われていました。

ここに当世流行のウェアラブルデバイス(体に身につけ健康情報を記録する超小型機器)による新しいデータが追加されてきており、「確かに森林ウォーキングは血圧や睡眠、そしてストレスなどに良い作用をしている」、「ウォーキング時間は1時間でも良いし繰り返しがより有効である」という結果が得られています。

自然に恵まれた福島、野山に行かなきゃもったいない!

## 宙レター

天文グループ 田中 鐵五郎

## 二つの街路樹

## 四方山雑記

案内グループ 原 弘子

以前ミニツアーで散策した際、心ときめく二つの樹木との出逢いがありました。

一つは、アティ(ヨドバシカメラ)前の木、「ハンカチのキ」です。4月下旬から5月上旬に白い大きな苞(ほう)のついた花をつける。この苞が純白のハンカチを2枚つるしたように見えるそうです。素敵なネーミングに一目惚れしました。

もう一つは、如宝寺にある樹木「タラヨウ」です。木と葉の色や形そのものはそれほど目を惹く存在ではありませんがタラヨウの葉の裏に先の尖ったもので字を書くとか鉛筆で書いたように黒い跡が残るという性質があります。

葉に文字を書いて手紙を送る習慣は戦国時代にはすでに行われていたという記録も残っているとの事…遠い昔どんな人がどんな想いで文字を綴ったのでしょうか…「ハガキの木」とも呼ばれ郵便局のシンボルツリーにもなっているようです。心に留まった二つの街路樹に歴史の奥深さを感じました。

## 科学グループ ツアー報告

5/15日 猪苗代方面

科学グループでは、春と秋にミニツアーを自主企画し実施しています。今回は8名が参加し、好天の中、2台の車で猪苗代町ツアーとなりました。

まず向かったのが、『アクアマリンいなわしろカワセミ水族館』です。ウシガエルやゲンゴロウなど子ども時代の興奮が蘇るような生物たちを目と鼻の先でじっと観察したり、戯れる様子が何とも愛らしいカワウソに大興奮したり…。多くが、元来私達のすぐ身近に居るはずの生物なのに、いつ頃から彼らの存在にさえ無関心になっていた自分が恥ずかしくなりました。

午後からは、『野口英世記念館』と先日開館した『水環境センター』に行きました。記念館はリ

ニューアル前にも訪れているのですが、展示が拡張された細菌についてのあれこれや湖の現況について、パネルやゲームを通し改めて理解を深めました。今春、安積開拓/疎水が日本遺産に選定されたこともあり、郷土の環境や偉人について学び直すにはいい時期だったかと思えます。

科学グループ 山田 善貴



## 今号の きら星さん

案内グループ 古川 聖奈

私は、何か人の役に立つ活動をしたと思い、募集!のチラシを見てスペースパークボランティアに入って5年目になります。

3年前のボランティアまつりで初めて皿回しをして中々出来ずに苦労した思い出があります。練習をして今では皿回しを人に教えられるようにまでなりました。ここで私は、一つ自分にも出来ることを見つけたことができました。

ふれあい科学館では、活動の場として色々なことをさせて頂きました。特に案内グループの皆さまにはたくさんのお話を教えて頂き感謝申し上げます。

来場者の笑顔や楽しんでくれた姿が嬉しく、元気を私は貰っています。

学生だった私が、これから社会人になり、参加できる活動も少なくなってしまうのですが、これからも時間の許す限り末永く活動を続けて行こうと思っています。

